

指導案の書き方 技術・家庭科 技術分野

1 題材名「 」

2 題材の目標

・学習指導要領の目標が達成できるように、学習指導要領の内容を踏まえて設定します。

＊学習指導要領の「ABCD」は「内容」，「(1), (2)」は「項目」，「ア, イ」は「指導事項」になります。

3 題材の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活や社会で利用されている技術について理解していると、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。

4 題材について

- ・国立教育政策研究所から示されている「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料」（令和2年3月）の評価規準に盛り込むべき事項及び評価規準の設定例を参照します。なお、評価規準の設定例は、評価の観点別に「おおむね満足できる」状況を示すものです。
- ・生徒の姿がどのような学習状況となっていれば、題材の目標が達成できたと判断するのか、その拠りどころとなる規準を、年間指導計画に基づいて観点ごとに簡潔に記述します。

(1) 題材観

- ・題材の持つ価値や内容、選択した理由、教材の系統性等を記述します。
- ・発達の段階や教材の特質等の観点に即して題材と生徒との関係を記述します。

(2) 生徒観

- ・調査（アンケート、学力検査の結果）等を基に、題材の学習に対する関心の程度や学習経験の有無、基礎となる知識や技能の習熟状況等について分析的に記述します。

(3) 指導観

- ・題材観と生徒観を踏まえ、本題材を通して育てたい生徒の姿を実現するための指導の方向性を記述します。（題材の目標を達成するための、指導や支援の手立てを具体的に記述します。）

5 研究テーマとの関わり

- ・研究授業など、校内研究テーマや教科研究会等のテーマに○授業を行う際に記載します。

6 指導計画（○時間扱い 本時△／○）

「ねらい」「主な学習活動」「指導上の留意点」「時数」「評価規準（評価の観点）」等について記述します。

時	主な学習活動	指導上の留意点	評価規準〔評価の観点〕
1	生徒の立場で「～する」と書きます。	「目標」達成のための具体的な工夫・手だてを書きます。「～させる。」	・～を理解している。〔知識・技能〕 ・～について考えている。〔思考・判断・表現〕 ・～しようとしている。〔主体的に学習に取り組む態度〕
2	「4(3)指導観」を受けて具体的に示します。必要に応じて学習形態を示します。		「3 題材の評価規準」との整合性に注意します。評価方法も記入します。
3 本時			

7 本時の指導

(1) ねらい

本時で、身に付けさせたい力と学習活動の具体を簡潔に記述します。題材目標との関連、指導計画の該当する時間との整合性にも留意します。

(2) ねらいに迫るための手立て

4(3)を受けて、授業場面の「どこで」「どのような働き掛けを」「なぜ行うか」などについて、具体的に記述します。

(3) 指導過程

段階	主な学習動	主な発問と指示 予想される生徒の反応	指導上の留意点 評価(評価規準と評価方法)
導入分	具体的な学習活動について、生徒の立場から記述します。		- 観点別で書き、観点名を示します。 - 評価方法(記録に残す評価)を示します。 1～2つにします。 「3 題材の評価規準」 「6 題材の指導計画」 との整合性に注意します。
	めあて(本時の目標を達成するための学習課題を生徒向けの言葉で記述します。)		
展開分	思考を促す問いを設定します。 題材を貫く学習問題との整合性に注意します。		
終末分	学習問題に対するまとめ・本時の振り返りをさせます。		

(4) 評価

* 題材の指導計画、本時の指導過程に明記されていれば省略することもあります。

→ 研究テーマ等との関わりで評価を重視する場合等は、以下のように書きます。

本時の評価規準	「おおむね満足できる」姿となる。「～している。」 「6指導計画」の評価規準が入る。
「十分満足できる」と判断される生徒の姿	「十分満足できる」状況と判断される生徒の姿を具体的に記述します。
「努力を要する」状況と判断される生徒への手だて	指導や支援の具体的な手立てを記述します。

(5) 板書計画

・本時のめあてや学習の手掛かり、生徒の学びの軌跡、本時のまとめや振り返りなど、生徒の学習の助けとなるように内容や構造を工夫します。

・授業での学びがノートに残るようにします。→ 生徒が振り返ることができるようにします。

・色づかいの工夫等をして、重要なことや学びが分かるようにします。

(6) その他

・座席表、ワークシート、授業に関連するものがあるときには添付します。

技術科学学習指導案チェックリスト

No	項目	内 容	☑欄
※	年次研修名・学校名等	※ 仙台市教育センターに提出する場合は、ヘッダー部分に右寄せで記載している。 例) H○年度 フレッシュ先生○年次研修 仙台市立○○小学校 H○年度 5年次ブロック研修 仙台市立○○小学校	☐
1	タイトル	技術・家庭科 技術分野学習指導案と記している。	☐
2	日時	令和 ○年 ○月 ○日 ○校時	☐
3	指導学級 指導者名	指導学級 ○年 ○組 指導者 職名 ○○ ○○ ※2行で示している。	☐
4	題材名	目標や指導計画と整合性が取れている。	☐
5	題材の目標	学習指導要領の各分野の内容を踏まえて設定している。	☐
		付けたい力を明確にしている。	☐
		目標の焦点化を図っている。	☐
		児童を主体とした文末表現(「～しようとする」「～できる」)になっている。又は、教師を主体とした文末表現(「～するように(指導)する」)になっている。	☐
6	題材の評価規準	題材の目標に応じた評価規準を設定している。	☐
		児童を主体として、「見取る生徒の姿」「目標の実現状況」「～しようとしている」「～している」で表記している。	☐
		「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料」(国立政策研究所)を参考にしている。 http://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryoku.html	☐
7	題材について		☐
	(1)教材について(題材について)	指導者自身が捉えた、この教材(題材)の特徴(概要、解釈、意味、価値)を書いている。	☐
		この教材で児童に付けたい力を示している。	☐
		学習指導要領との関連を示している。学習指導要領解説を参考にしている。	☐
	(2)児童生徒について	調査(アンケート、学力検査の結果)等を基に、題材に関する児童の実態を分析している。	☐
		学習への意識や定着状況、課題等を示している。	☐
		付けたい力に関連して、定着状況と課題を示している。	☐
	(3)指導にあたって	指導に当たっての見通し、教材化の意図を明確にしている。	☐
		題材の目標を達成するために、どこで、どのような指導をするか書いている。	☐
		付けたい力、育てたい児童の姿を明示して、その手だてを示している。	☐
授業改善のための工夫(手だて)を提案している。		☐	
(4)研究テーマとの関わり	「(1)教材について」と「(2)児童について」とを関連付けている。	☐	
	自校の研究テーマ、技術・家庭科テーマとの関連について示している。	☐	
8	指導計画	仙技研の研究テーマとの関連について示している。	☐
		○時間扱い 本時△/○	☐
		題材の学習問題を設定している。	☐
		学習内容に応じた単位時間の評価規準と評価方法を設定している。	☐
		題材の評価規準と各時間の評価規準の整合性が取れている。	☐
9	本時の指導	各時間の評価規準は1～2観点になっている。	☐
		題材名を示している。	☐
		題材の目標を踏まえ、本時のねらい(目標)を具体的に示している。	☐
		本時のねらいは、指導計画の評価規準と整合性が取れている。	☐
		評価規準は1～2観点になっている。	☐
		評価場面と評価の回数は適当である。	☐
		本時の学習問題を設定している。	☐
		本時の学習問題は、題材の学習問題に迫るものとなっている。	☐
		学習内容に応じた予想される児童の反応を具体的に示している。	☐
		学習展開に応じた留意点や支援の内容を具体的に示している。	☐
10	板書事項	本時の評価の判断基準(Aに当たる児童の姿)や、支援が必要とされる児童(C評価に当たる児童の姿)への手だてを示している。	☐
		学習問題とそのまとめ・振り返りを含めた構造的なものになっている。	☐
		授業での学びがノートに残るように工夫している。	☐
11	資料等	評価の材料となるように工夫している。	☐
		本時の指導に関するワークシート、自己評価等を添付している。	☐
		必要に応じて題材全体の指導資料を添える。	☐